

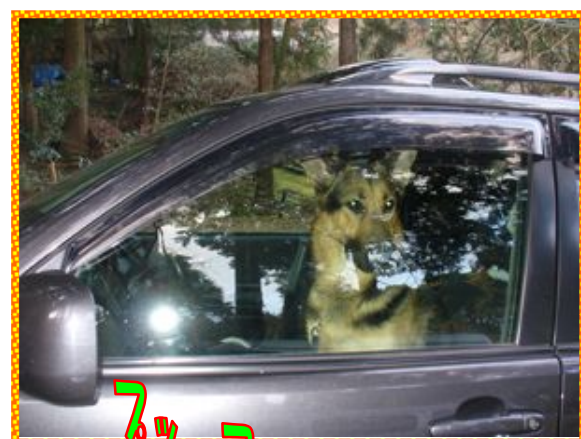


クレバーとケンちゃん クレバーは以前にもお話したように、生後一カ月の時、眼瞼に異常があるということで殺処分されるころを私が引き取りました。眼瞼の簡単な処置を施し、生後三ヶ月から、多摩動物園の近くに住んでいる岩野親方の所に里子に出しました。そこではドッグトレーナーの稲尾さんに出張訓練をして頂いています。現在は九ヶ月齢となり、雌の lindou よりも一回り以上も大きくなり、立派な雄犬に成長しました。たまに我が家へ帰って来ると lindou や クライン、ジャンと大騒ぎをします。又、lindou と同様にちよつと不思議な力を持って



いて、人からも犬からも非常に好かれます。lindou は、家内と散歩をしていると、自転車で乗った見知らぬ人が、わざわざ降りて lindou に挨拶をしてくれたり、通りすがりの人が「この子の目、何かを言っている」と言っていて来ます。また大きな犬とも、小さな犬ともすぐ仲良しになります。不思議なことに、クレバーもそれを真似たかのように、lindou とそっくりな面がたくさんあります。全く血筋の違う犬がどうしてこんなにも思うほどよく似ています。

岩野家でわがまま放題(?)に甘やかされたクレバーですが、やはり散歩に行く、行き会った犬達や人々から大変可愛がられるそうです。そんなある日、クレバーが窓越しに外を見ていたそうです。すっかり日も暮れているのに何をみているのかしら、と岩野さんが外を見てみると、散歩時に会うケンちゃんというマルチース犬が門の外で一生涯懸命に「キャン、キャン」と鳴いていたそうです。もう夜という事もあり、ケンちゃんを家の中に入れ、クレバーと一緒にのケージで一晩過ごしたそうです。さて散歩で会うとはいえ、岩野さんもこの家の犬だか分からず、探し当てたら、とんでもなく離れた所で、その間、交通事故にもあわず本当によかったという話です。その後もケンちゃんとは散歩で会うのですが、遠く離れていてもクレバーを発見すると走り寄って来て、年配のご主人がいつも息を切らせて追いかけてくるそうです。人にも徳という言葉があります。犬でもクレバーや lindou はなにか他の犬が持っているない徳があるような気がします。ちなみにケンちゃんは一歳の雄のマルチース犬です。



ブン、ブン!!

ジャンのいたずら 先日、一月に企画している一泊合宿の準備に合宿所へ出かけた時の事です。日暮れ時でもあり、帰り支度で忙しかつた為、犬達をとりあえず山荘の駐車場に止めてある岩野さんの車に乗せてから、片付けをしていました。しばらくすると駐車場の方から車のクラクションの音が短く、「プッ、プー」と聞こえてきました。誰だろう。車が邪魔なのかな?と駐車場の周りを見回しても誰もいません。おかしいな、と想ってよく見ると、何と岩野さんの車の運転席にジャンがちゃっかり座っているではありませんか。これで納得。偶然、クラクションに体が触れて鳴ったのでしょうが、あまりにも鳴らすタイミングがよかったです、みな大笑いでした。あたかも「早く帰ろうよ」と合図をしたかのように・・・。シャーマン・セファードのジャンはひょうきん者です。もしかしたら、わざと鳴らしたのかも??